

◆公園・緑地、校庭、駐車場、水田、ため池等との連携

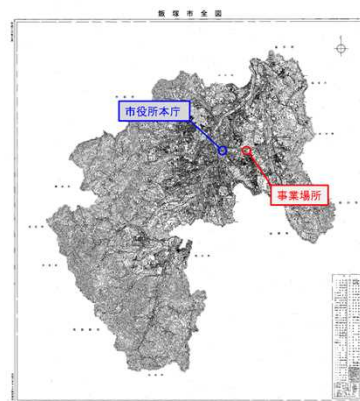
■ 現況と課題

■ 現況

- ・大谷ため池・三緒浦ため池は農業用ため池として利用されている。

■ 課題

- ・集中豪雨により下流域に水が集まり、内水氾濫が発生している。
- ・現況がため池であり、洪水調節施設が無く、また護岸や低水路等整備が必要である。



■ 浸水対策の概要

■ 対策の概要

- ・農業用ため池を調整池として改修するために護岸を整備し、オリフィスと排水路の整備を行った。また流下速度緩和のために調整池を新設する。

■ 工夫

- ・現況が農業用ため池であるため泥土が堆積しており、重機のトラフィカビリティを確保するため池底の地盤改良を行った。併せて、暗渠排水管を設置し、雨水が池内に滞水しないようにした。
- ・調整池周辺に家屋や店舗があるため、調整池内に雨水が滞留し続けると生活環境を損なう恐れがあるため、常時排水用の排水路（低水路）を設置した。

■ 計画の考え方や対策検討の経緯

■ 計画の考え方

- ・10年確率降雨強度に耐えうる洪水調節施設として改修

■ 経緯

- ・平成15年、平成21年に発生した集中豪雨により、下流域である学頭地域において、度重なる浸水被害が発生している。

■ 対策に至る比較検討など

- ・なし

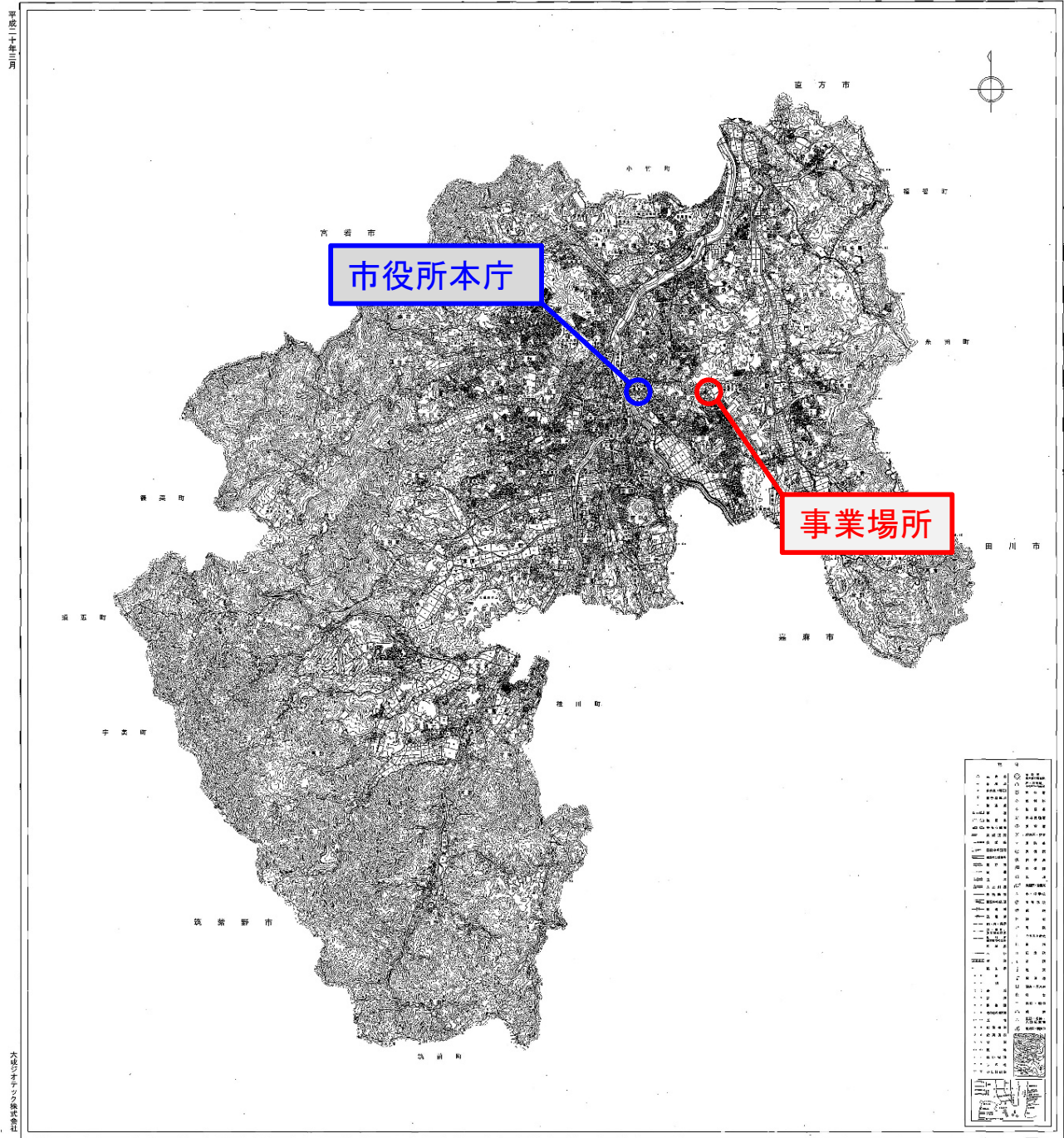
■ 浸水対策の効果

■ 対策の効果

- ・平成24年度に本事業が完了し、平成30年7月6日の降雨時に下流域の浸水被害が軽減されているのを確認した。

飯塚市全図

平成二十三年三月



大塚才学社株式会社